

図書館情報

●お問い合わせ 本館 73-1616
清和 82-3033
蘇陽 73-2755

『12月のおすすりめ図書』

「白銀ジャック」

東野 圭吾（ひがしの けいご）

実業之日本社文庫 分類913

年の瀬のスキー場に届いた脅迫状。ゲレンデの下には爆弾が埋まっていると言う。「我々は、いつ、どこからでも爆破できる。」ゲレンデ上の全ての人々が人質となった！ 犯人の目的は、身代金か？ 復讐か？ 警察にも通報できない状況で、犯人との命を賭けたレースが始まる。



「今朝の春—みをつくし料理帖」

高田 郁（たかだ かおる）

角川春樹事務所 分類913



江戸・神田「つる屋」で料理人として働く天涯孤独の少女澪が主人公の「みをつくし料理帖シリーズ」第4弾。大阪で生まれ育った澪は、江戸と大阪の違いにとまどいつつも、持ち前の負けん気と天性の味覚で次々に新しい料理作りに奮闘する。澪を取り巻く人々との人情あふれる日々の生活を描いた物語。巻末には、作中に登場する料理の作り方も紹介されています。

「燻製大事典」

大田 潤（おおた じゅん）

分類596

燻製（くんせい）は、木材を熱して出た煙で食材を燻し、風味付けし、長期間保存できるよう加工する方法です。代表的な食材に「かつお節」がありますね。難しいと思われる方も多いと思いますが、この本では燻製前のごしらえや、すべての工程を一つ一つカラー写真でわかりやすく紹介されています。本格的な道具が無くて、ダンボールや中華なべでできる方法もあるそうです。肉・魚はもちろん、チーズやタコ・イカなどなど。ちょっと手の込んだ料理で年末年始を迎えてみませんか？



「ほほど掃除のしかた」

辰巳 渚（たつみ なぎさ）

分類597



2010年も残すところあと少し。きれいさっぱり掃除をして、新年を迎えたいですね！ でも、一気にやろうとすると、とても大変。しかも家族も多ければ、それぞれの持ち物も多くて片付けも大変…。「ほほど」のお掃除で、住み心地の良い空間を手に入れて見ませんか？ このほかにも図書館では、「鍋料理の本」や「年賀状のアイデア本」などたくさん取り揃えてみなさんのご来館お待ちしております。

特集 『命の入口はどこか』 「命の入り口 心の出口— 食卓の向こう側・第13部」

西日本新聞社 分類498

「食」を通して健康問題・教育問題・社会問題を問う「食卓の向こう側」シリーズ第13部です。食べ物を口に運び、息を吸う「口」。皆さんは今日の体を作る何を「口」から食べましたか？ 一度に口にした食物を何度噛みましたか？ 子ども達は「急いで！早く！」とせかされて、柔らかい食べ物ばかりを口にし、噛む力が弱くなっていると言います。また、口腔ケアを怠ると、命にかかわる病気を引き起こす原因になっているという調査結果もあるそうです。食物摂取する事は、命を支える上でとても大切なこと。噛む力が強ければ、生きる力も強いと言えるのではないのでしょうか？ 「口」を命の入り口にするか、病気の入り口にするか。みなさんの意識ひとつと気づかされる一冊です。



★食卓の向こう側シリーズ編者の佐藤弘氏の講演会決定！ 2011年1月22日講演予定。詳細は後日お知らせいたします。

年末年始 休館日のお知らせ

休館中の本の返却は返却ボックスをご利用ください。DVDは破損の原因になりますので、返却ボックスには返却せずに、カウンターまでお持ちください。

休館日 本館・清和分館・蘇陽分館

平成22年12月29日（水）

～平成23年1月4日（火）

図書館 だより



図書館に一足早いクリスマスプレゼント

『布絵本』が届きました！



下田館長と「布絵本の会」のみなさん

「布絵本の会」のみなさんから、ひと針ひと針愛情こめて作られた可愛らしい布絵本を寄贈頂きました。温かみのある、とっても素敵なクリスマスプレゼントです！ 思わず触ってみたくなる布絵本の数々。どのように作られているのでしょうか？ 「布絵本の会」で本づくりの指導をされている橋本恵子先生にお話を伺いました。

「布絵本の会」を始めようと思っただけを教えてください。

「昨年の絵本カーニバルにボランティアで参加した折に、渡辺順子さんの講演会に参加し、持参された布絵本と出会った事がきっかけです。その後、布絵本に興味のあるみなさんと一緒に製作を始めました。」

「いつから製作を始められたか？」

「昨年の11月からです。1ヶ月に2回、第2・第4木曜日に図書館ホールに集まって製作しています。最初は自分の布絵本を一冊ずつ作りました。今年の絵本カーニバルに間に合った作品は会場に展示させていただきました。」

「絵本カーニバル会場でも大人から子どもまで、多くの方に大好評でした。」

「布絵本の魅力とは？」

「すぐに飽きてしまう既製品のおもちゃではなく、お孫さんやお子さんの思い出の洋服を使って世界にひとつだけの布絵本などを作ると、愛を感じて物を大事にしようと思うのではないのでしょうか。また、布絵本をいっしょに楽しんで話したりして、親子の時間を増やし絆を深めてもらえたらと思います。」

「布絵本の会の今後の活動を教えてください。」

「壁に飾って見て楽しめるタペストリーを製作予定です。」



また、11月から井無田地区でも布絵本の会が始まっています。興味のある方は気軽に見学してください。」

会は終始なごやかな雰囲気、手先を動かしながらも楽しいおしゃべりを交えて進みます。布絵本の型紙は橋本先生オリジナル。ボタンがあつたり、小さなポケットがあつたりと楽しい工夫がいっぱい！ みなさん時折難しい所は先生の指導を受けながら、ちくちくとモチーフを作っていました。みなさんも布絵本作りに挑戦して見ませんか？ 裁縫に自信がなくても大丈夫、橋本先生が個々にあった指導をしてくださるそうです。

